

初心運転者事故者率

群馬県では、普通免許を取得してから1年以内の人、いわゆる初心運転者が、交通人身事故を起こす割合がとて高い状況が続いています。

下のグラフは、過去5年間の初心運転者事故者率の群馬県及び全国平均の推移となります。前年比減少傾向にあるものの、毎年、全国平均を大きく上回り、令和元年から連続して全国ワースト第1位となっています。

初心運転者の皆さん、

- ・ 免許取得後1年以内の「今」が、最も事故を起こしやすい時期であること
- ・ ご家族や御友人を乗せている場合は、その大切な方々の「命」も預かって運転していること
- ・ 長時間運転する場合は、適宜休憩をはさむなど、体調の管理を十分に行うこと等を常に忘れずに、日々、安全運転を心掛けてください。

過去5年間の推移

初心運転者事故者率とは、令和6年中に県内教習所を卒業して普通免許を取得した19,364人のうち、初心運転者期間（免許取得後1年以内）に人身事故を起こした人の数231人の割合 $231 \div 19,364 \times 100 = 1.19\%$

